

## 7. 日本学術会議第19期会員推薦候補者選挙 について

会報106(数学通信第7巻第2号)で公告しましたように、標記の選挙の手続きを2002年10月から開始いたしました。会員推薦候補者の予備選挙を行っている最中の12月始めに、学術会議より選挙手続きの一時停止の要請が来しました。その理由は、現在学術会議の改革案が政府で議論されており、そのため場合によっては第18期会員の任期を長期にわたり延長する可能性がでてきたためとのことでした。

今回この要請に対してどのように対応するかを12月の理事会で協議し以下のように決定いたしました。

1. 予備選挙の結果を確認し、そこで現在の選挙の手続きを凍結する。

2. 学術会議が第18期会員の任期を長期には延長せず、選挙手続きの再開を要請してきた場合は、予備選挙の結果に基づき全会員による選挙を直ちに行う。

3. 学術会議が第18期会員の任期を長期に(1年以上)延長する場合は、これまでの手続きはすべて白紙に戻し、第19期会員推薦候補者選挙の手続きは最初から行う。

ところが、学術会議より1月28日付の手紙が届き、選挙手続き再開の要請がありました。2月に全会員による選挙を行います。

(理事長記)